

【教員氏名】

大久保 正人
研究室:聖アンデレ館 8 階 820 号室
メールアドレス:horatio@andrew.ac.jp

【授業形態】

講義

【講義・演習概要】

★★★ 世界市民科目の中で「最も難しい」講義ですので、真剣に勉強する覚悟のある学生だけが受講してください。★★★

★★★ この講義を受講する学生は、必ず、初回の講義に「出席」してください。★★★

これまで、多くの市民にとって刑事司法制度(「捜査」や「裁判」)は、捜査機関(警察等)や法律の専門家(裁判官・検察官・弁護士)だけが関与するものであり、日常生活とは関係のない「他人事」であると考えられていました。しかし、裁判員制度が導入された社会においては、一般市民であっても刑事司法制度に無関心であることは許されず、その「準備(心構え)」をしておくことが必要になっています。本講義においては、裁判員時代の一般市民に必要とされる、刑事司法制度の「基礎」を学習します。

★★★ 下記、成績評価の方法「コメント」欄を、声に出して読んでください。★★★

【学習目標】

桃山で「最も厳しい」教員による講義です。
失礼な態度は「絶対に」許されません。(厳格に対処します)
自分に甘い学生は、この講義を受講しないでください。

【講義計画】

- 第 1 回:はじめに ～刑事司法制度の概要～
- 第 2 回:刑事手続の流れ ～捜査と裁判～
- 第 3 回:裁判員制度(1)基礎知識編
- 第 4 回:裁判員制度(2)実践編
- 第 5 回:世界の裁判制度
- 第 6 回:陪審裁判(1)制度
- 第 7 回:陪審裁判(2)事例
- 第 8 回:司法取引
- 第 9 回:死刑制度
- 第 10 回:犯罪者の処遇
- 第 11 回:少年による犯罪
- 第 12 回:精神障害者による犯罪
- 第 13 回:科学捜査
- 第 14 回:プロファイリング、犯罪の抑止
- 第 15 回:おわりに ～総復習～

【成績評価の方法】

試験評価:100% レポート:0% 出席:0%
警告!:以下の「コメント」を声に出して読んだ上で、納得できた学生だけが受講してください。

★ 初回の講義に「欠席」した学生に対しては、レポートを課します。(未提出の学生は、単位を修得できません)

★ 第 2 回以降は、「出席」を取りません。(但し、欠席・遅刻が多い学生は、単位を修得できないと思います)

★ 学期末試験は、「論述式」で行います。(本気で勉強しない学生は、単位を修得できないと思います)

★ 私語や携帯電話の使用に対しては、その場で直ちに「除籍」とします。(単位を修得できません)

★ 先輩の情報を信用した学生は、必ず後悔するでしょう。(先輩は責任を取ってくれません)

★ 桃山で最も厳しい教員による講義ですので、覚悟を決めて、誇りを持って受講してください。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

テキストは使用しません(詳細なレジュメを配布)。
参考文献は、必要に応じて紹介します。

【準備学習の指示(事前学習 30 時間、事後学習 30 時間)】

予習:新聞・テレビ・ネット等を通して、刑事司法制度に興味を抱いてください。

復習:配布したレジュメを読み返して、想像力(妄想)を膨らませてく

ださい。

【その他備考(担当教員用)】

【備考(管理者用)】